

課題設定	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<p>2100年未来の天気予報をもとに、環境問題についての課題を設定しよう</p> <p>○2100年未来の天気予報の動画をもとに、地球温暖化と世界規模の環境問題について知る。(課題設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題に対して、抱いた疑問や感想から、問いを立てる。 解決策を考える。本活動のゴールイメージをもつ。 <p>○ゲストティーチャー(滝沢さん)の話から、身近な環境問題に対しても問題意識をもつ。(情報収集)</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ清掃員による、大量廃棄物の現状から、自分たちの生活とごみの関係を知る。 食品ロスやプラスチックごみの問題について知る。 	<p>環境について、自分が問題意識を持ったテーマについて知ろう。</p> <p>○個々に問題意識をもった環境問題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を収集する。(本、図鑑、インターネット、インタビュー等) 情報を関連付けたり、吟味したりする。友達同士で調べたことや考えたことを交流し、意見を伝え合う。 <p>○調べたことをもとに、自分にできることを考えて実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分でもできることを考えて夏休みを利用し、実践する。 実践したことをレポートにまとめる。 気づきを共有する: 「環境問題は、小さなことでも自分ができることから始めることが大事」 「環境問題は、自分たちだけでは変わらないので多くの人で取り組むことが大事」 <p>○学習と活動をふり返り、次のステップにつなげる。</p>	<p>よりよいエコな地域や学校づくりのために、私たちにできることに取り組もう。</p> <p>○これまでの取り組みをふり返り、よりよいエコな地域や学校づくりのために、どう取り組むか計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みを振り返る。 自分たちにできることを考え、アクションチームを結成する。 図書館・ネット等で情報を集めたり、専門団体等から話を聞いたりする。 <p>○設定したアクションに対して自分たちにできることについて、調べた情報を整理・吟味し、できることを実行する。 【本時との関連領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム別の活動 学年で各学級それぞれの取り組み発表・交流 他学年や学校全体への働きかけ 地域への働きかけや、地域とのコラボ エコフェスやエコサミットなどのイベント <p>○学習と活動を振り返り、子ども報告会につなげる。</p>	<p>よりよい地域の環境のため考えたり取り組んだことをもとに、思いや願いを発信しよう</p> <p>○報告会に向けて情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表したい内容・方法について不足した情報などを収集する。 仲間と情報交換しながら調べた結果を整理する。 目的に合った内容・方法になっているか、吟味する。 発表の内容・方法について考える。 <p>○発表することをまとめ・表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取り組んできたことから『わたしが考える「エコな地域・学校」のために必要なこと』をまとめる。 ESD子供報告会で発信する。 <p>○1年間の学びと気づきを振り返り、まとめる。6年生での活動につなげる。</p>
<p>理科 「天気の変化」「台風」 ・気候変動と環境問題を関連づけてとらえることができる。 【A】【B】</p> <p>地域 マシンガンズ滝沢さん</p>	<p>社会 「食糧生産と私たちの暮らし」(米作り、農業)【A】【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの暮らしに欠かせない食糧生産の在り方が、自然環境や生物資源、食品ロスなど多様な環境問題と関連づいていることを理解する。 <p>道徳 「一ふみ十年」(自然愛護)【B】</p>	<p>国語 「固有種が教えてくれること」「表やグラフを用いて書こう」【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計資料などのデータの読み取り方を知り、環境にかかわるデータを分析し、これからの未来を志向することができる。本時・本単元 <p>社会 「食糧生産と私たちの暮らし」(水産業、食料生産)「工業と私たちの暮らし」【A】【B】</p> <p>道徳 「流行おくれ」(ものを大切に作る節度)【B】</p> <p>地域 すぎなみ環境ネットワーク 専門家・研究者 JA 地域の農家の方 農業公園</p>	<p>社会 「環境と私たちの暮らし」【A】【B】(水、森林、自然災害)</p> <p>交流 ユネスコスクールネットワーク【B】</p> <p>道徳 「イルカの海を守ろう」(自然愛護)【B】</p> <p>地域 すぎなみ環境ネットワーク</p>

第5学年
国語科

資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう
ーグラフや表を用いて書こうー

単元目標

- 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができる。
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- 目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

児童の実態

第5学年の児童は何事にも意欲的で明るく元気に取り組んでいる。授業でも、積極的に発言する児童が多い。一方で、「正しい答えを発言しなければならない。」という意識を強くもち過ぎ、なかなか発言できない児童がいる。教科によっては、発言が特定の児童に偏ることもある。

また、発言内容に関しては学習塾で先行学習していることなど、人から教わったことに自信をもつ傾向にある。本単元では、自分の考えの根拠となる資料を選び、周囲に説明する活動を通して自信を育ませたい。

単元観

①単元の概要

本単元は、「読むこと」の説明的文章教材「固有種が教えてくれること」と、「書くこと」の教材「グラフや表を用いて書こう」で構成される複合単元である。指導の重点としては、図表の扱い方にあり、グラフの読み取り方については、情報「統計資料の読み方」で取り上げている。

図表と文章を対応させながら読み、資料の効果を考えることを通して、自分の表現にもそれを生かすことがねらいである。目的に合った資料(データ)を選び、自分の考えをそれと対応させながら文章を書くことで情報リテラシーを養いたい。

②本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・環境に興味をもち、よりよい社会を志向する力。

【未来を予測し計画】

- ・環境問題に関するグラフやデータを分析し、課題を発見する力。

【批判的思考・多面的総合的思考】

- ・よりよい社会づくりに対して自分の思いや考えをもち、発信する力。

【主体的参加】

誰一人取り残さないための工夫

- 共同的な学び
ロイロ共有ノートを活用することで、一つの資料をグループで共同で検討できるようにする。自分の選択に自信をもって活動をするために、共同の活動を取り入れた。友達との交流により、資料の多様な視点を得て、意見文に生かす。
- 自分事にする工夫
活動内容に即した資料を工夫し、準備することで、児童の問題意識を自分事にする。
- 支援が必要な児童への指導
個別支援用のシートを準備し、具体的なデータ読み取りの視点を与える。友達が見つけたポイントがつかめればよいことを伝える。

情報活用能力の育成について

- 第5学年が年間を通して重点とする能力
 - ・必要な情報を収集し、適切に整理・分析する力。
 - ・集めた情報を自分の考えの根拠として活用する力。
- 本単元で重視する能力
 - ・表やグラフなどの多様なデータの中から効果的なデータの在り方を考える。
 - ・自分の考えの根拠となるデータを活用して、意見文を作成する。

単元の流れ

- ①～④時：「固有種が教えてくれること」を読み、資料の効果を考える。
- ⑤時：統計資料の読み取り方を知る。【導入】5-4
- ⑥時：「社会はエコな社会に向かっているかどうか？」というテーマで自分の考えをもち、環境問題の中から自分の考えを裏付ける情報を収集する。
- ⑦時：集めた資料を分析し、分かることをメモする(何が分かる資料か)。資料が自分の考えと合っているかどうか検討する(グループ活動)。【本時】5-3
- ⑧時：自分の意見が伝わるように、文章構成を考える。【文章構成】5-1
- ⑨～⑩時：グループで共有したデータを使い、構成メモをもとに意見文を書く。【意見文作成】5-2
- ⑪時：意見文を友達同士で読みあう。

各学級で本時とその前後の授業を実施します

本時の授業デザイン（5時間目／11時間）

本時の目標

環境問題とこれからの未来の在り方について自分の考えに合う資料を探すために、統計資料の読み取り方を理解する。

評価規準：情報を分析する力

- 知・技：環境問題について、自分の考えが的確に伝わるような資料を見つけることができる。
- 思・判・表：資料をもとにして、よりよい社会についての考えをもつことができる。
- 人間性：環境問題について、自分が問題意識をもち、人に伝える上で効果的な資料を探そうとしている。

①情報活用能力の育成の視点

（本時）

【資料の分析】本教材や提示した環境の資料の読み取り方を理解していたか。

（次時）

【資料の収集】よりよいエコな社会に向かうためにというテーマで、自分の思いや考えを裏付ける新たな資料を集めていたか。

【資料の活用】自分が集めた資料を基にして、意見文を書く準備ができたか。

②ESDにおける価値観育成の視点

- ・環境に興味をもち、環境問題に関するグラフやデータを読み取ることができたか。

学習の流れ

①
導入

◆本時の学習課題を確かめる。

- 「固有種が教えてくれること」で分析したデータで、どのようなところが難しかったか出し合う。
 - ・目盛りや単位、時期や対象などのポイントを確認する。
 - ・解釈するには、データの変化に着目することを確認する。

統計資料は、どんなところに着目してよみとればよいのか、考えよう。

②
展開

◆統計資料のグラフや表を読み取り、データを分析する方法を考える。

- 教科書の提示された棒グラフ2種類を比較し、読み取り方を検討する。
 - ・統計資料の読み方を参照し、ポイントをつかむ。
 - ・目盛りや単位、時期や対象、変化などの観点で気付いたことを全体共有する。
- 環境に関する統計資料を分析する練習をする。
 - ・いくつかの資料の中から、興味をもったものを探し、解釈とデータの効果を書き出す。

特別な支援が必要な児童への対応

- ・読み取りが簡易で分かりやすいデータをいくつか準備し、データのどこを見れば何が分かるのかを示す。
- ・目盛り・単位・時期・対象など

③
終末

◆今日の学習を振り返る。

- どのような観点でデータを読み取ることが大切なのかを振り返り、気づきをまとめる。次時のデータ収集につなげる。

本時の授業デザイン（7時間目／11時間）

本時の目標

環境問題とこれからの未来の在り方について自分の考えをもって探した資料から適切なグラフや表を選び、内容を友達と検討し合う。

評価規準：情報を分析する力

- 知・技：環境問題について、自分の考えが的確に伝わるような資料を見つけて分析することができる。
- 思・判・表：よりよい社会についての考えをもつために、資料から分かることなどを分析することができる。
- 人間性：環境問題について、自分の問題意識をもち、人に伝えられることを資料から見つけようとしている。

①情報活用能力の育成の視点

【資料の分析】自分の考えを裏付ける資料を分析できたか。

- ・自分の資料から読み取ったものを文章化させたり、焦点化させたりする。キーワードで書き出してもよい。
- ・分析をもとに自分の考えを友達に伝える。

②ESDIにおける価値観育成の視点

- ・環境に興味をもち、これまでの総合的な学習の時間に学んだ知識や活動の経験を関連づけて、よりよい社会を志向しようとしているか。
- ・環境問題に関するグラフやデータを分析し、そこから見えてくる環境の今後について自分の考えをもてたか。
- ・よりよい環境の社会づくりに対して、自分の思いや考えをもち、友達と伝え合えたか。【本時】

学習の流れ

①
導入

◆本時の学習課題を確かめる。

- 「固有種が教えてくれること」で分析したデータにはどのような効果があったか振り返る。

エコな社会についての自分の考えに合うグラフや表を探し、友達と検討し合おう。

②
展開

◆エコな社会について自分の考えに合うグラフや表を探し、データを分析して、グループで検討し合う。

- ロイロ上で、自分の考えに合い、意見文に活用できるデータを選ぶ。
 - ・「未来はエコな社会に向かっているか、向かっていないか」という自分の考えに合うデータを、データ集の中から選ぶ。
 - ・選んだデータを分析し、分かることをメモする。
- 自分が選んだデータを友達と交流する。
 - ・選んだデータが、意見文に活用できるものかどうかを、ロイロノートを使って班で交流し、互いのデータに対して気付いたことなどを伝え合う。

特別な支援が必要な児童への対応

- ・あらかじめ意見文を書くのに有効なデータをいくつか準備し、データのどこを見れば何が分かるのかを示す。

③
終末

◆今日の学習を振り返る。

- どのような観点でデータを選んだのか振り返り、今後の意見文作成につなげる。